

# アステラス、眼科に重点

## 米VIB買収 再生医療技術も狙う

アステラス製薬は10日、再生医療技術を使って眼科疾患の治療法開発に取り組む米ベンチャー企業オカタ・セラピューティクス（マサチューセッツ州）を、3億7900万ドル（約466億円）

で買収すると発表した。眼科分野の強化で事業の裾野を広げる。再生医療製品の開発に向けた基盤技術の獲得も狙う。オカタ社はヒトの胚か

らつくるES細胞から、網膜の細胞を分化させる技術を持つ。加齢黄斑変性などの患者の網膜に移植することで視力を回復させたり、失明を避けたりする治療法の開発を目指している。

アステラスは今年、社内再生医療研究所を設置、米ハーバード・メデ

点研究分野に位置づける。畑中好彦社長は同日の説明会で今回の買収で「眼科領域でのプレゼンスを確立する」と強調した。ただ、オカタ社が基盤とするES細胞を活用した治療には倫理的な問題を指摘する声も根強い。

ES細胞の作製を巡っても各国で規制があるほか、実際に治療に利用できるようになるかも不透明さが残っている。